

ミライカフェほの国2020 開催概要

目的

東三河地域を「住み続けたい町」「住んでみたい町」に変えていくため、高校生によるグループワーク、ビジネスプラン・地域づくりの取組発表を通じた意見交換を行い、地元への関心や愛着心を高めることを目的に開催しました。**今回で7回目**です。

実施概要

- 日時：2020年2月1日(土) 11:00～15:30
- 場所：MUSASHI Innovation LAB CLUE (豊橋市駅前大通1-135)
- 参加校：渥美農業(4名)、桜丘(9名)、豊橋工業(3名)、福江(2名)、三谷水産(7名)の5校 25名(男子19名・女子6名) 引率教師11名
- 一般来場者：4名
- コーディネーター 内浦有美 (株)うちうら 代表取締役
谷口庄一 星城大学 准教授 他2名

グループワーク

- 「自分の住んでいる町の好きなところ／嫌いなところ」、「まちがこうなればよい」、「25年後もこのまちに住んでいる」について、4グループに分かれ、意見交換し、発表しました。



ビジネスプラン・地域づくりの取り組み発表

(1) 渥美農業高校

「地域の方々と歩む酒粕黒豚プロジェクトと養豚経営再建」



(2) 福江高校

「観光ビジネスコース活動報告」



(3) 三谷水産高校

「PH LABを通じて学んだこと」



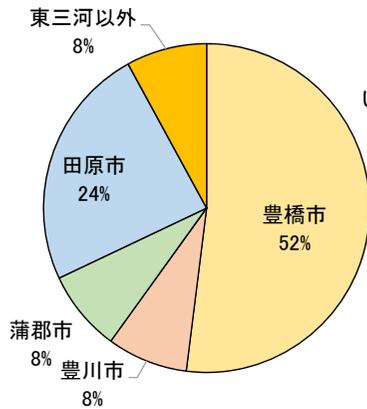
(4) 桜丘高校

「石巻山のカタツムリ調査と保護活動」

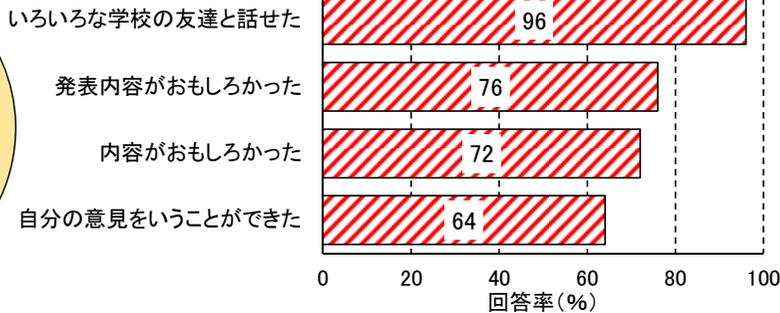


アンケート結果

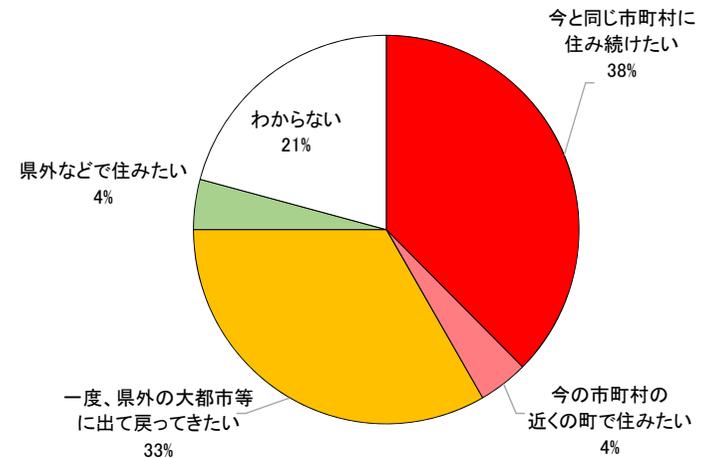
・住居地は92%(23人)が東三河在住で、本事業について、「いろいろな学校の友達と話せた」(96%)[57%]「発表の内容がおもしろかった」(76%)[70%]と、異なる学校とのコミュニケーションについて、高い満足を得られる結果になりました。
 ・今、住んでいる場所に住み続けたいかどうかでは、「今と同じ市町村に住み続けたい」(38%[42%])、「今の市町村の近くの町で住みたい」(4%[13%])は、前回よりも低下しています。しかし、「一度、県外の大都市等に出て戻ってきたい」(33%[13%])は非常に高くなっており、これら3項目の合計は75%[66%]で、前回よりも高まっており、地元指向が強くなっていると言えます。
 ※[]内は昨年度のアンケート結果です。



■参加生徒の居住地



■本事業に参加して良かったこと



■現在の居住地への定住指向

印象に残っていること

考えが違う

- ・考え方が違って面白かった。(渥美農業)
- ・自分が住んでいる所以外の意見。(渥美農業)
- ・思いつかないような意見が多く、沢山笑ってとても楽しい時が過ごせた。(渥美農業)
- ・色々な地域から来られた人が多く、豊橋だけでなく、東三河の話が出来た。(豊橋工業)
- ・自分の住んでいる町の良い所、悪い所で、自分の思いつかない意見が聞けた。(桜丘)
- ・人によって視点が違って面白い話が聞けた。(桜丘)
- ・東三河に対する考え方の違い。(桜丘)
- ・様々な高校の人の話を聞いて、自分とは違う考えを聞けた。(桜丘)
- ・同じ地域に住んでいる人でも感じ方が違って、話していて楽しかった。(三谷水産)

学校毎の違い

- ・学校のいやな所やいい所では、学校によって全然違うんだなと思った。(福江)
- ・三谷水産(魚をさばいたり、船に乗ったり)、渥美農業(豚コレラの影響や対策)の内容。(豊橋工業)
- ・普通科では出来ないことをしていてすごい。(桜丘)
- ・他校の人は、専門分野で様々なことを考えている。(桜丘)
- ・学校それぞれの特色があり面白かった。(三谷水産)
- ・他校の特徴が良く分かった。(三谷水産)
- ・各学校の話。(豊橋工業)

地域愛

- ・みんな地域愛があった。(桜丘)
- ・「25年後も自分のまちに住んでいたい」について、「いいえ」という人でも、「絶対に戻らない」ではなく、自分の夢・将来で仕方なくとこだわったので、みんな自分のまちが好きなんだなと思った。(三谷水産)
- ・「地域が好き」という意見が多いこと。(渥美農業)
- ・私のグループは、ほとんどの人が地域に残ると思うと発言していた。(桜丘)

地域の悩み

- ・どこの地域に住んでいても不満はあること。(福江)
- ・その土地特有の悩みがあるということ。(桜丘)

その他

- ・1人1人話し合おうという積極的な意識があった。(渥美農業)
- ・皆漠然と未来について考えているのではなく、しっかりと様々な要素を考慮していた。(桜丘)
- ・知り合いを知っていたりして、こうして輪が広がっていくと思った。(豊橋工業)
- ・各学校での様子、友達、先生など、知らなかったことを話してくれたこと。(三谷水産)
- ・他校の生徒が話しかけてくれたので、リラックスして参加が出来た。(三谷水産)
- ・どこの学校の人が言っていたことも印象に残っている。また、情報交換したい。(三谷水産)

関心を持ったこと

まちづくりについて

- ・色々な人の意見を聞くことで、違う考えが生まれること。(渥美農業)
- ・地域のために何が出来るかを自分や周りと共に考えながら考えること。何が地域に必要なか考えること。(福江)
- ・豊橋の問題を解決するための案を持って考えていきたい。そのためにも、**豊橋に関心を持つようにしたい**。(桜丘)
- ・どういうまちにしていきたいか？そもそも**自分のまちはどうだったかを改めて知る**ことが出来た。(三谷水産)
- ・自分の住んでいる地域の「良い、悪い」を生かし、より良い東三河になるといいなと思いました。(三谷水産)
- ・**他校が、どのように東三河を変えようとしているのかがわかる**のと、人によって、好きな所があったので、色々な好きな所、いい所があると思う。(三谷水産)

東三河について

- ・色々な所で色々な人が動いて、東三河は良いものになっている。(渥美農業)
- ・**自分が知らなかった東三河の事**に関心を持った。(三谷水産)
- ・東三河がどのようなことに取り組んでいるのか、何が有名なのかを知れたので、関心を持った。(三谷水産)

活性化の取り組みについて

- ・色々な高校で、地域活性化に取り組みを知った。**自分も出来る事をやりたい**。(豊橋工業)
- ・様々な学校が、地域活性化のために商品開発に取り組んでいること。(桜丘)
- ・豚コレラ、接客やツアーを考える、未利用資源を使った商品開発、絶滅しそうな生物、各学校ごとに問題があるが、**解決に向けて1人1人が頑張っている**こと。(三谷水産)
- ・高校生が発信していること(企業との協同開発・販売。桜丘のかたつむり、環境のこと等)。(豊橋工業)

企業とのつながりについて

- ・**企業と高校がコラボ**して東三河の活性化の発表が聞けた。(渥美農業)
- ・**地元企業との共同開発**。工業高校では行えない内容が面白かった。(豊橋工業)
- ・田原市の農業関係。(豊橋工業)
- ・色々な**高校と企業が協力**している。(桜丘)

他地域について

- ・田原市だけではなく、**他の東三河地域**のことについて(渥美農業)
- ・**自分の住んでいる以外の地域**。(福江)

環境について

- ・自然が豊かで落ち着く場所。(桜丘)
- ・環境問題に関心を持ちました。(桜丘)

その他

- ・普段見ていない、交通などの面に関心を持った。交通事故が多いと聞き、確かにそうだと思った。(桜丘)
- ・どんどん人口も減り、自分が住んでいる場所の活気が無くなってしまうこと。(桜丘)
- ・豚コレラについて。(桜丘)

25年後の東三河はどんな街になって欲しい！

住み易い

- ・住み易く、**笑顔**が多い町。(豊橋工業)
- ・自然が残っていて、地域の人が住み易いように発展して欲しい。(三谷水産)
- ・今よりも住み易く、**町が生き生き**して欲しい。(福江)
- ・住み易い町(**高齢者への対応**・店を増やすなど)(渥美農業)
- ・**大人も子どもも住み易く**、色々発達している町になって欲しい。(桜丘)
- ・**全ての人が過ごし易い**と言えて、盛り上がりのある町。(三谷水産)
- ・自然の豊かさは変わらず、**少しだけ交通や買い物**が便利になればと思う。(三谷水産)

活気あるまち

- ・活気ある町。(桜丘2人)
- ・大都市のような近未来的になるのではなく、**今と同じように活気のある自然**があって欲しい。(桜丘)
- ・多くの人で賑わう元気な町。(福江)

仲良く交流し福祉・子育て

- ・地域の方たちと**仲良く交流**出来たらいい。(三谷水産)
- ・多くの人が**住んだり、訪れたり**してくるような町になって欲しい。(桜丘)
- ・人々が助け合い、**どの年齢の方も気楽に話し合える、生活しあえる幸せな町**。(三谷水産)
- ・福祉・子育てに優しいまち。(豊橋工業)

魅力を活かす

- ・蒲郡の魅力がたくさん詰まった観光施設等が出来たらうれしい。(三谷水産)
- ・**魅力をちゃんと生かしている町**。(福江)
- ・観光名所、遊べるところが増える。(豊橋工業)

交通環境改善

- ・**道が広く**、高齢者・障害者など、どのような立場の人でも住み易い環境であって欲しい。(豊橋工業)
- ・**事故が減って欲しい**。狭い道等が沢山あって危険。そこを見直し、少しずつでも事故を減らして欲しい。(桜丘)
- ・とりあえず**交通機関が発達**して欲しい。(渥美農業)

変わらない

- ・正直余り**変わらないで欲しい**。落ち着きがなくなるのは怖いから。(桜丘)
- ・**変わらないで欲しい**。(渥美農業)
- ・今より発展して、今より便利になって、今と変わらない雰囲気であって欲しい。(桜丘)

その他

- ・自分の町に住みたいと思うが、海が好きなので、自分の町と同じような所に住んでいたい。(三谷水産)
- ・**ごみが減り、きれいな町**。(桜丘)
- ・自然が沢山で優しい人が増えていて欲しい。(渥美農業)
- ・**地域一体となれる場**の確保。(豊橋工業)

開催案内

■東日新聞(2020年1月29日)

高校生が地域づくりのアイデアやビジネスプランを発表する「ミライカフェほの国2020」(東三河地域研究センター、東三河県庁主催)は2月1日、豊橋市駅前大通1の「ムサシ・イノベーション・ラボ・クルー」で開かれる。渥美農業、豊橋工業、三谷水産、福江、桜丘の5校の生徒が参加予定。午前中に「東三河の魅力ある」ところ

地域づくりのアイデアやビジネスプラン

高校生独自の目線で発表

来月1日「ミライカフェほの国2020」

／住み続けたい理由」と「若者が集まる活気ある東三河に変えていくために必要なこと」をテーマにグループワークを行い、午後からビジネスプランや地域活動などを発表し、意見を交わす。午前11時～午後3時30分まで。観覧自由で入場無料。問い合わせは同センター。電話0532(21)6647へ。

■東愛知新聞(2020年1月31日)

高校生が地域活性化プラン

5校参加 あす豊橋でミライカフェ

地元の高校生が東三河を活性化するための地域づくりやビジネスプランの発表を行う「ミライカ

フェほの国2020」(東三河地域研究センター主催)が2月1日(土)午前11時から午後3時半ま

で、豊橋市駅前大通1のココリアベニュー内にあるムサシイノベーション「ラボ・クルー」で開かれる。渥美農業、豊橋工業、三谷水産、福江、桜丘の5校の高校生が参加。若者が集まる活気ある東三河に変えていくために必要なことなどを議論するほか、地域が活性化するためのアイデアやビジネスプランを提案する。

入場無料で観覧自由。問い合わせは同センター(0532・21・6647)へ。(竹下貴信)

これまでの取組(実施概要)

- 第1回 ミライカフェほの国2014 主催：東三河県庁 / 事業受託：東三河地域研究センター
場所：愛知県立豊橋工業高等学校会議室 / 日時：2014年2月8日
参加者(14名)、参加校(3)：渥美農業、豊橋工業、豊橋商業
内容：事業プレゼンと意見交換
- 第2回 ミライカフェほの国2015 主催：東三河県庁 / 事業受託：東三河地域研究センター
場所：名豊ビル8階ホールD（豊橋市駅前大通2-48） / 日時：2014年12月13日
参加者(21名)、参加校(5)：渥美農業、新城東高校作手校舎、豊川工業、豊橋工業、豊橋商業
内容：・地域づくりのグループワーク・ビジネスプラン発表と意見交換
- 第3回 ミライカフェほの国2016 主催：東三河地域研究センター・東三河県庁
※「愛・地球博開催地域社会貢献活動基金の助成金」等利用
場所：名豊ビル8階ホールC・D（豊橋市駅前大通2-48） / 日時：2016年2月13日
参加者(27名)、参加校(5)：渥美農業、田口、豊川工業、豊橋工業、豊橋商業
内容：・地域づくりのグループワーク・ビジネスプラン発表と意見交換
- 第4回 ミライカフェほの国2017 主催：東三河地域研究センター・東三河県庁
場所：名豊ビル8階ホールC・D（豊橋市駅前大通2-48） / 日時：2017年1月21日
参加者(20名)、参加校(5)：渥美農業、豊川工業、豊橋工業、豊橋商業、三谷水産
内容：・ビジネスプラン等の発表とブラッシュアップ
- 第5回 ミライカフェほの国2018 主催：東三河地域研究センター・東三河県庁
場所：開発ビル6階601(豊橋市駅前大通2-33-1) / 日時：2018年2月3日
参加者(22名)、参加校(5)：渥美農業、桜丘、豊橋工業、豊橋商業、三谷水産
内容：・地域づくりのグループワーク・ビジネスプラン発表と意見交換
- 第6回 ミライカフェほの国2019 主催：東三河地域研究センター・東三河県庁
場所：開発ビル6階601(豊橋市駅前大通2-33-1) / 日時：2019年2月2日
参加者(24名)、参加校(5)：渥美農業、桜丘、豊橋工業、福江、三谷水産
内容：・地域づくりのグループワーク・ビジネスプラン発表と意見交換

これまでの取組(プレゼンテーション)

○第1回 3校3件

- ・豊橋工業「風で飛ばされない紙皿：エアロデッシュ」
- ・豊橋商業「農業と市電で活性化」
- ・渥美農業「お茶の可能性を探る～四番茶利用への挑戦～」

○第2回 2校2件

- ・豊橋商業「ほっとし茶お」(抹茶と鶏卵を使った缶パン)
- ・渥美農業「4番茶を使った茶パンの商品化」

○第3回 3校4件

- ・渥美農業「耕作放棄地予防プロジェクト～地域資源の活用～」 「未利用資源の活用～四番茶利用への挑戦～」
- ・田口高校「間伐材の有効利用～木材燃料「アツマル」の開発と普及～」
- ・豊橋商業「愛知県530市！？～豊橋の現実を変えていこう！～」

○第4回 3校4件

- ・渥美農業「農高交流プロジェクト～国境を結ぶ輪～」 「白いカレーの開発」
- ・三谷水産「カガミガイを用いた魚醤の作成」
- ・豊橋商業「拾ってみりん拾うとわかるゴミゼロの効果」

○第5回 3校3件

- ・渥美農業「コラーゲンたっぷりの白いカレー」
- ・三谷水産「深輝(シンキ)あら！？メヒカリさん」
- ・桜丘「地域の自然の魅力発信！」

○第6回 3校4件

- ・渥美農業「未利用資源の活用～白いカレー商品化への道～」 「高校生が挑戦！豚肉の肉質向上計画！」
- ・三谷水産「三河湾体験型ツアーの企画」
- ・桜丘「朝倉川・身近な自然環境を考える」